

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	高ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	ブロック経済
<b>タイトル</b>	AI を活用した日本の渋滞対策		
<b>テーマ群</b>	e) 産業・企業		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p><b>【研究の背景ならびに研究テーマ】</b></p> <p>日々の生活において身近に起きるストレスの 1 つに、「渋滞」がある。実はこの渋滞によって引き起こされるのはストレスだけではなく、経済的にも非常に甚大な損失を被るということをご存じだろうか。日経産業新聞によると、国内で発生する渋滞の経済損失は年間 10 兆円規模とみられている。このことから、国土交通省などは渋滞の対策として様々な対策を行っている。その中でも近年では、AI を活用した対策も検討されている。AI などを用いることによって経済損失を大幅に減らすことができれば、日本経済に良い影響を与えることができるはずだ。そこで今回私たちは、この AI という技術をどのように活用すれば渋滞を緩和できるのか、ということの研究テーマとした。</p> <p><b>【研究方法】</b></p> <p>この研究は、新聞や国土交通省または交通関連の企業のホームページなど様々な文献から得られるデータや情報をもとに行う。まず渋滞の原因ならびにどの地域において渋滞が集中しているのかなど、日本の渋滞事情について調べる。そして現在検討されている AI 技術と、その効果を明らかにし、従来の技術との比較を行う。それらから得られた結果をもとに、どの場所にどのように AI の技術を活用すれば良いのかということの研究していく。</p> <p><b>【期待される成果】</b></p> <p>この研究によって明らかにされることは主に二つある。第一に渋滞によって引き起こされる深刻な影響の具体例を明らかにすることである。第二に AI 技術の可能性と導入方法を解明し、今後日本がどのように渋滞の対策を行っていくべきなのかを示すことができる。</p>		